

配水設備等破損補償金事務処理要領

(昭和46年3月31日 工 務 部 長 決)
工業用水道部長決)
(最近改正 令和4年3月23日配水課長決)

(目 的)

第1条 この要領は、配水設備等破損補償金事務処理要綱第4条の規定に基づき、配水設備等破損補償金（以下「補償金」という。）の請求、督促等を行う際の事務手続を定めることを目的とする。

(破損事故等の受付)

第2条 当局が配水設備等破損の連絡を受け、水道センター職員が現場出動する際は、「配水設備・給水装置等破損修繕依頼書」（以下「修繕依頼書」という。様式1）を必ず携行し、破損発生に係る責任者または破損人（以下「破損人等」という。）に所定事項を記入させ提出させなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、修繕依頼書については、破損人等と補償金を負担する者とが異なる等の理由により、破損の当日に修繕依頼書が提出されないときは、翌営業日に提出させること。

(補償金の精算及び調定)

第3条 出動した水道センター職員は、修繕依頼書及び、維持管理グループにて作成する配水設備・給水装置等破損補償金精算書（以下「精算書」という。様式2）を速やかに庶務グループに送付する。

2 庶務グループは、精算書に基づき精算を行い、配水設備・給水装置等破損補償金調定書（以下「調定書」という。様式3）を作成し、調定及び請求の決裁を受ける。

(補償金の請求)

第4条 庶務グループは、補償金の調定ののち、配水設備・給水装置等破損補償金請求通知書（以下「請求通知書」という。様式4）及び納入通知書（様式5）を作成し、依頼者に送付する。

(納入期限)

第5条 納入通知書等に記載する納入期限は、土日祝を含めたおおむね3週間とする。

(整理簿)

第6条 庶務グループは、破損補償金収入整理簿（様式6）に所定の事項をその都度記入する。

(文書番号及び公印)

第7条 請求通知書には、文書発送番号を付するものとする。

2 文書発送番号は、局の頭字、主管課の頭字、当該年度の数値及び整理番号の順とし、主管水道センターが付するものとする。

(未収入金の督促等)

第8条 本要領第4条の規定により納入通知書送付後、納期を経過したにもかかわらず未収入のものについては、「-大阪市-債権管理の手引き」に準拠し事務手続を行うこと。

附 則

この要領は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、昭和54年2月15日から施行する。

附 則

この要領は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成28年5月2日から施行する。

附 則

この要領は、令和元年5月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和4年4月1日から施行する。

基準漏水量算定の基礎

1 計算条件

「A」破損および「B」破損による漏水量を算出するについて、以下の条件を定める。

- ・管内水圧：0.29MPa（3.0kgf/cm²）
- ・「A」破損は、管が切断され全断面から漏水するものとする。
- ・「B」破損は、直径3cmの破損があったものとする。
- ・破損によって水圧は低下しないものとする。

2 「A」破損の算出方法

(1) ウェストンの公式（50mm以下）

$$h = \left(0.0126 + \frac{0.01739 - 0.1087D}{\sqrt{V}} \right) \times \frac{1}{D} \times \frac{V^2}{2g}$$

$$I = h / \ell = \left(0.0126 + \frac{0.01739 - 0.1087D}{\sqrt{V}} \right) \times \frac{V^2}{2gD}$$

h：摩擦損失水頭（30m）

ℓ：延長（10m）

V：管内流速（m/s）

D：管口径（m）

g：重力加速度（9.8m/s²）

近似計算によりVの値を求め、連続の方程式により漏水量を算出する。

Q = A × V（連続の方程式）

Q：流量（m³）

A：管の断面積（m²）

V：管内流速（m/s）

(2) ヘーゼン・ウィリアムスの公式（75mm以上）

$$Q = 0.27853 C D^{2.63} I^{0.54}$$

Q：漏水量（m³/sec）

C：流速係数（130）

D：管口径（m）

I：動水勾配（‰）

注）動水勾配を30/40＝750‰とする。すなわち、40mの延長で0.29MPa（3.0kgf/cm²）の損失水頭である。

配水設備・給水装置等破損修繕依頼書

令和 年 月 日

大阪市水道局

水道センター所長

依頼者 住 所

会社名

氏 名

TEL

配水設備・給水装置等を破損しましたのでお届けし、修繕を依頼します。なお、修繕に要しました費用は、全額負担します。

破 損 月 日	令和 年 月 日 午前・午後 時 分			
破 損 場 所	区 丁目 番地 号			
破 損 物 件	上水 mm配水管・給水管 仕切弁 消火栓			
原 因 工 事	発 注 者			
	工 事 名 称			
費 用 負 担 者	所 在 地			
	会 社 名			
	代 表 者 又 は 代 理 人		電 話	
備 考				
受 付 月 日	令和 年 月 日	受 付 者		
受 付 番 号	No.			

令和 年 月 日

修 理 日 時 令 和 年 月 日 午^前_後 時 分 ～ 午^前_後 時 分

起工番号 No.

費用負担者	住　所
-------	-----

電話

[illegible]

(2) 労 力 費			断 水		有 ・ 無
名	称	単 位	数 量	日 額 単 価	金 額
直 接 労 力 費				円	円

(3) 請 負 工 事 費		請 負 業 者 名			指 示 番 号
工 種 名 称	形 質 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額
				円	円

(4) 漏 水 補 償 費	有 ・ (A ・ B ・ C ・ D) 無	m ³
		円

(5) 洗 浄 排 水 費	有 ・ 無	m ³
		円

(6) 公 報 費	円
-----------	---

小 計	円
-----	---

(7) 諸 経 費	円
-----------	---

(8) 合 計 金 額	円
-------------	---

(様式3)

維持担当 課長	係 長	係 長	調 査	係 員

整理番号 第 _____ 号

調定年月日	年 月 日
-------	-------------

配水設備・給水装置等破損補償金調定書

費用負担者 _____

工事費精算額

内 容	金 額	備 考
材 料 費		
直 接 労 力 費		
請 負 工 事 費		
漏 水 補 償 費		
洗 浄 排 水 費		
公 報 費		
小 計		
諸 経 費		
合 計	()	

() 内は消費税相当額

記 録

(様式4)

大 水 第 号
令和 年 月 日

様

大阪市水道局

水道センター所長

(担当: TEL)

配水設備・給水装置等破損補償金の請求について (通知)

令和 年 月 日付で依頼のありました当局所管の配水設備・給水装置等破損修理に伴う補償金は次のとおりですので、別添納入通知書により納付してください。

記

1 補 償 金 ¥
(内 訳)

内 訳	金 額	備 考
直 接 工 事 費		
間 接 工 事 費		
漏 水 補 償 費		
洗 浄 排 水 費		
小 計		
諸 経 費		
合 計	()	

() 内は消費税相当額

2 破 損 物 件 mm 配水管・給水管・仕切弁・消火栓

3 破 損 場 所

4 納 入 期 限 令和 年 月 日

② 収入通知書

原 符

取引 年度	所管	取 引 番 号	会計	金 額	CD

お払込人

(お願い) この用紙は、直接機械に読ませますので、汚したり、ピンで止めたり、折ったりしないでください。

納 入 者

様

様

金 額

取引番号

取引年度	所管	取 引 番 号	会計	課税区分

金 額

うち消費税等額

加入者

大阪市水道局長

科目

摘要

発行年月日

加入者

大阪市水道局長

取りまとめ
金融機関〒539-8794 大阪貯金事務センター
総括出納取扱金融機関

受 入 日 付 印

日 数	金 額
計	
小切手受領	銀行 支店
記号	番号 号

受 入 日 付 印

(取りまとめ金融機関→大阪市水道局)

(受入店保存)

納入通知書兼領収証書

様

摘 要

金 額

うち消費税等額

取引番号

納 期 限

納期限までに上記の金額を納めてください。
納付場所 水道局・銀行等・郵便局

発 行

(お問い合わせ先)

大阪市水道局長

加入者

大阪市水道局長

上記の金額を領収しました。

領 収 日 付 印

- 1 領収日付印のないもの、および金額を訂正したものは無効です。
- 2 小切手使用の場合は、その交換決済が済んだ後でないと本領収証書の効力は生じません。



科目

種別

[illegible]